



1996-97年度 RI テーマ

*Luis P. Jia*  
ルイス・ピセン・ジアイ  
1996-97 RI 会長

## ■■■ 築け未来を 行動力と先見の眼で ■■■

第2560地区——吉 田 昭 平  
ガバナー——  
会 長——捧 賢 一  
会長エレクト——五十嵐 総 一  
副 会 長——細 井 増 雄  
幹 事——五十嵐 昭 一  
副 幹 事——佐 野 勝 栄  
S A A——菊 池 涉  
副 S A A——山 浦 日出夫

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~  
例会場及び——三条市旭町 2-5-10  
事 務 局——三条信用金庫本店内  
例 会 場——TEL 35-3311  
事 務 局——TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 51名
先々週出席率	90.54 %

### ヴィジター

三条南より 横山準司さん

三条北より 高橋彰雄さん

### ゲ ス ト

ライラ研修参加者

太田聡美さん、中野弘幸さん、

宇治智則さん、松原信行さん

### 先週のメイクアップ

10/13 越後魚沼チャーターナイトへ  
捧 賢一さん、五十嵐昭一さん、  
平原信行さん

10/14 新潟北へ 渋谷健一さん

10/14 三条南へ

榎本 勝さん、広岡豊作さん、  
細井増雄さん、五十嵐総一さん、  
樺山 仁さん、鈴木宗資さん

10/15 三条北へ

佐久間勝敏さん、高橋政志さん、  
外山雅也さん、渡辺勝利さん

## 会長挨拶

### 捧賢一会長

昨日、東京でDIY協会の役員会がございまして、出席いたしました。帰りに遅い夕飯を頂きました。以前、細井増雄副会長とご一緒した浅草の「駒形どじょう」で夕食をとって参りました。もうかれこれ20年近くも前でしょうか。細井さんと東京で出会い、いい店があると紹介されたわけです。細井さんは、落語の世界に通じていらっしゃるって、落語の舞台にも出てきている店だということで、それからはここが私の楽しみの場所の所があります。近くの観音様には、お参りできるし、下町の風情は何とも言えません。

「駒形どじょう」は、駒形橋の近くにあって、古い江戸時代の建物がそのまま使われており、中に入ると大きな下足札が渡され、かすりの着物でお迎えする若いお嬢さん達。そして大きな神棚に太いしめ縄がはってあって、江戸の下町の風情がそのままです。あぐらをかいて、コンロの火でどじょうを煮込む。それから滅多に口に出来ない鯨汁。それに鯉のあら。日本酒をかたむけ、いい気分でした。私の楽しみの場所でもあります。

身のまわりの経済が世知辛くなってきました。情報化、国際化が進み、ますます気が許せない時代になってますが、そんな時にこそ、潤いというか昔の風情に浸るのも命の洗濯でしょうか。皆さんにもお勧めしたい場所の一つです。

## 幹事報告

### 五十嵐(昭)幹事

#### ◎吉田RCより

10周年記念式典出席のお礼状が届いております。

#### ◎柏崎東RCより

40周年記念式典出席のお礼状が届いております。

## ニコニコBOX



### 捧賢一さん

3人目の孫が生まれました。これで娘が二人共母親になりました。

### 吉井俊介さん

母校明治野球部優勝。

### 渡辺弘栄さん

結婚記念日の当日花束が届き、家内は大喜びでした。ありがとうございました。また、先日、斎藤隆さん、ご親切にお礼申し上げます。

### 山浦日出夫さん

何もしない消防団員が15年勤め11月3日文化の日、市の表彰を受けることになりました。恐縮しております。

### 菊池 渉さん

先日悩みを持って寺を訪れた青年を浮労者と思い込んで、おい返してしまいました。今、心が痛んでいます。自省の念をこめて…。

### 平原信行さん

越後魚沼ロータリークラブの認証式に会長、幹事につれて行っていただきましたので。

### 長谷川有美さん

9日から6日間、日本最南端の小笠原諸島に3年振りに釣りに行って来ました。久しぶりの大物釣りで大魚に振廻されて釣果は1m、9kgのコンパチ他5匹で不漁でした。

### 清水良一さん

都合により早退させていただきます。

### 岩井数央さん

早退させていただきます。

10月16日分

¥11,000



## 卓話

### ライラ研修に参加して

青少年奉仕委員長 佐藤吉平会員



3年連続でライラ研修に参加させていただき、無事終了いたしました。本音のところたいへんほっとしております。

今年度の研修は体力的に一番ハードではございましたが、その分楽しいライラ研修でした。

今回は『創意と工夫、行動力と大きな視野で築け未来を』と言うテーマでしたがまさにテーマに沿った3日間でした。第一日目は「静の日」と言うことで4人の講師による講演会。その後研修生は感想文の作成、ロータリアンは青少年奉仕

活動についてディスカッション、夜は星座観賞会。第二日目は「動の日」と言うことで、一日または半日のハイキング、自衛隊隊員によるロープ講習会、夕食はグループ別に野外炊飯、夜はキャンプファイヤーにエアロビクスと休む間もない一日でした。第三日目は「終の日」と言うことで、「薬物乱用防止」についての講演会、二日目に書いた感想文の発表会と盛りだくさんのメニューでした。

とにかく今年のメイン行事は、二日目のハイキングと野外炊飯でした。一日コースは朝7時出発バスで移動して、笹が峰付近をハイキングして4時に帰ってくる若者向けのコース。半日コースは朝9時に自然の家を出発して、近くの藤巻山に登り2時に帰ってくるロータリアン向きコース。勿論私は半日コースに参加したのですが、これが「ハイキング」なんてものでなくて全くの「登山」でした。

ハイキングと言う名目でしたので、護摩堂山程度かと思っておりましたが、甘い考えでした。前半の登りはダラダラ坂でなんだ軽い軽いと思っておりましたが、後半の登りは本当にきつくて、皆んなと一緒になければギブアップしていたことと思います。昨年の中村さんは普段登山をされておられますので、こういうのは中村さんをお願いするべきだと、登りながらつくづく思いました。

研修生もなんでこんな辛い山登りをしなければならぬのだ、などと話ながら登っておりましたが、帰ってくれば一日

コースでも行けたかもしれないと体力に自信を持てたようです。また女性の研修生は、こんな登山は一人では絶対に登れない、みんなと一緒にだったからできたと言っていた方がたくさんおられました。へこたれそうなとき、「頑張ろう」と声を掛けられるとまた元気がでてきます。研修生の皆さんは仲間の大切さを感じたことと思います。また我々ロータリアンはまだまだ若いものに負けてはいないと自信を持てたことと思います。

研修生、ロータリアン合わせて、200名以上が半日コースに参加したと思いますが、ほとんど落伍者もなく皆元気に下りてまいりました。

こういうお話を致しますと、ライラ研修はやはり若いロータリアンでないとダメだと皆様お考えになるかと思いますが、そんなことはありません。新津中央RCより参加された方は63才でしたが、我々と同じペースで登り一緒に帰ってこられました。ライラ研修は若い者が行くものと決めないで欲しいと思います。

その日の夕食は、野外炊飯で自分達でごはんを作らなければなりません。カレーと野菜炒めを作ったのですが、これがまた大変でした。なにしろ20名位の食事をみんなで手分けしてやるのですが、そんなことをやったことのある人などいないわけですから大騒ぎでした。

これは山田地区青少年奉仕委員長の意図したことと思いますが、食事を作るマニュアルがないのです。テーマの通り『創

意と工夫』でやれというわけです。

まず、薪でごはんを炊いたことがあるメンバーはいないわけです。電気やガス釜がないのです。それでも水加減はどの火加減はどのとみんなで大い言いながら、私のグループは久しぶりのおこげ付のたいへんおいしいごはんが炊けました。みんなで2時間もかかって作ったカレーライスと野菜炒めの味は最高に美味しかったです。

このなかで、感心したことがありました。聞いてみると家では皆ほとんど、食事の手伝いなどしたことがないと言いながら、皆以外と手際がよいのです。女性は手分けして野菜や肉を用意するし、男性は火をおこして待っている。また、手の空いた人は別の仕事を手伝う。と言うように実に皆協力してやっていくのです。今の若い者はしらけていると言われますが、決してそんなことはないと思いました。但し、マニュアルがないので皆最初なにをしたらよいか分かりません。その時新潟万代RCより参加された女性ロータリアンが、役割分担等とても適切な指示をしてくださいました。ロータリアンが例えばRACに対してなにをすべきか、たいへん参考になりました。

話は前後しますが、一日目の講演会について少しふれたいと思います。

私は第35次南極越冬隊長をされた横山先生より『南極観測と地球環境』の講演を聞いたのですが、心に残るお話が幾つかありました。

南極越冬隊は40名で越冬するのだそうですが、全くクローズドした世界のわけです。持っていた石油で電気を作り、その余熱で雪を溶かして水を作るわけです。無駄遣いは許せないのです。我日本も昭和基地と同じなのだと感じました。

石油を輸入し電気を作り、それによって暮らしているのです。自分一人くらい無駄遣いしても影響がないなどと思わずに、一人一人が資源を大切にすることがひいては地球環境まで影響すると言うことです。

それと『創意と工夫』でやる気があれば楽しく暮らせることが、たくさんあることです。例えば、電気をつくるときに余熱でお湯を沸かし、雪を掘って露天風呂までつくって楽しんだとのことでした。要は創意と工夫とやる気と言うことです。

3年連続でライラ研修に参加して感じたことを少しお話ししたいと思います。

最初の年はライラ研修とはなにをするものか、分からずただ皆さんのあとにくっついて行くだけでした。グループの人達と仲よくなれてよかったことくらいしか、思い出がありません。

昨年より規則が少し緩和されまして、お酒が飲めるようになりました。一日の行事が終わって、研修生やロータリアンと一緒に飲むことはとても楽しいひとときです。今年も夜はみんなでお酒を飲みながらわいわいがやがやと楽しく過ごしてまいりました。

ロータリーでは、他クラブヘメーキャップでもしない限り他クラブの方と親睦を計る機会はありません。まして寝食を共にして夜遅くまで語り合う機会などほとんどないのではないかと思います。そんな中でライラ研修はロータリアンにとっても、ロータリーとは何かを知るともよい機会だと思います。

私はライラ研修3回目ですので、けっこうでかい顔していたのですが、他クラ

ブの方で、RAC、青少年奉仕委員を10年とか9年とかやってすごい方がけっこうおられるのです。私などまだまだだとつくづく感じました。

皆さんライラ研修は辛くて大変だとお考えの方がほとんどだと思いますが、そんなことはないと思います。自分から楽しむ気持ちがあればたいへん楽しい研修だと思います。より多くの方がライラ研修に参加されることを希望します。

## ライラ研修生修了証書

三条RACライラ研修生

太田 聡美 さん



はじめまして、三条ロータリーアクトから来ました太田です。今回初めて、ライダー研修に参加させて頂きました。ライダー研修に参加する前は、3日間どんな

事をするのか、少し不安な気持ちでライダー研修に参加しました。実際、3日間研修が終り感じた事は、今まであまり会えなかった人達とたくさんの交流を持ち、たくさんのお話をし、いろいろな事をして、とても貴重な時間を体験させて頂きました。アクト以外にも参加されてる方々が、大勢いらっしゃいまして、そういった人達とお会いし、お話しした事がとても楽しかったです。今回ライダー研修に参加し、貴重な体験、そして私自身も少し成長したのではないかと感じております。こんな機会を与えて頂きまして、どうも有難うございました。

三条RACライラ研修生

宇治 智則 さん



ロータリーアクトクラブの宇治です。今回はライダー研修に参加した訳ですが、ライダー研修では、社会人として仕事をして行くうえで、いろいろ大切な事を学ばせて頂きました。ライダー研修という素晴らしい研修の機会を与えて下さった、ロータリークラブの皆様へ感謝を申し上げます。どうも有難うございました。

三条RACライラ研修生

中野 弘幸 さん



はじめまして、中野です。今回ライダー研修に参加をさせて頂きまして、新しい自分を発見して帰って来ました。自惚の影に隠れていた自分を見つけた様な気がします。半ばは自分の幸せを考えて、半ばは人の幸せを考えて、これからは行動して行きたいと思います。参加させて頂きまして、大変有難うございました。

三条RACライラ研修生

松原 信行 さん



三条ロータリーアクトの松原です。どうもよろしくお願ひします。このたび、ライダー研修に参加させて頂きまして、小さい頃にボーイスカウトに入っていて、キャンプの経験は多少分かりましたが、久しぶりに貴重な経験をさせて頂き、有難うございました。ロータリークラブ、アクトに深く感謝を申し上げます。有難うございました。

## 例会案内

三条RC	10月30日例会	ガバナー公式訪問
	11月6日例会	クラブ・フォーラム「地区大会報告会」

### メイクアップをどうぞ

三条南RC	10月28日例会	クラブ・フォーラム
	11月4日例会	振替休日
三条北RC	10月29日例会	クラブ・フォーラム
	11月5日例会	夜例会
燕RC	10月31日例会	クラブフォーラム
	11月7日例会	卓話 第4分区代理 小池 勝殿
加茂RC	10月31日例会	ガバナー公式訪問
	11月7日例会	クラブ・フォーラム
見附RC	10月31日例会	卓話 円田裕大会員
	11月7日例会	卓話 三藤良吉会員